

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

<b>タイトル</b>	自立支援・介護予防・重度化防止
<b>現状と課題</b>	<p>高齢化に伴い、65 歳以上の一人暮らしの高齢者や互いに介護を必要とする高齢者のみの世帯が増加している。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気暮らしていくことができるよう、要支援認定者の介護予防・日常生活支援総合事業をニーズに合わせ実施していく必要がある。</p>
<b>第 8 期における具体的な取組</b>	<p>介護予防普及啓発事業として、高齢者の運動機能の向上や口腔機能の向上、栄養改善などを図るための「しかべ地域まるごとげんきアッププログラム（まる元）」及び高齢者閉じこもり予防のための「あったかサロン」を実施する。</p>
<b>目標（事業内容、指標等）</b>	<p>まる元登録者数 （R 3 : 6 0 人、R 4 : 7 0 人、R 5 : 7 5 人）</p> <p>サロン登録者数 （R 3 : 3 5 人、R 4 : 4 0 人、R 5 : 4 5 人）</p>
<b>目標の評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 時点<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/>中間見直しあり</li><li><input checked="" type="checkbox"/>実績評価のみ</li></ul></li><li>● 評価の方法<ul style="list-style-type: none"><li>目標指数の達成状況に加え、達成できていない場合の対応状況を勘案し、評価する。</li></ul></li></ul>

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	給付適正化
<b>現状と課題</b>	
<p>町内の介護保険サービスの提供体制は整備されてきたものの、それぞれのニーズに応じたサービスが十分に提供できる体制は整っていない状況である。</p> <p>住民が身近な地域で介護や介護予防のサービスを利用できるよう、利用者本位のサービスを把握し、提供できる体制をと問える必要がある。</p>	
<b>第8期における具体的な取組</b>	
<p>介護給付費適正化の推進のため、以下の事項を実施する。（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・要介護認定の適正化</li><li>・ケアプランの点検</li></ul>	
<b>目標（事業内容、指標等）</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・要介護認定の適正化 認定調査状況チェック件数 （R3：150件、R4：150件、R5：150件）</li><li>・ケアプラン点検 ケアプラン点検件数（回数） （R3：24件、R4：24件、R5：24件）</li></ul>	
<b>目標の評価方法</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 時点<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/>中間見直しあり</li><li><input checked="" type="checkbox"/>実績評価のみ</li></ul></li><li>● 評価の方法 目標指数の達成状況に加え、達成できていない場合の対応状況を勘案し、評価する。</li></ul>	

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
鹿部町	①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢化に伴い、65歳以上の一人暮らしの高齢者や互いに介護を必要とする高齢者のみの世帯が増加している。 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元氣暮らししていくことができるよう、要支援認定者の介護予防・日常生活支援総合事業をニーズに合わせ実施していく必要がある。	介護予防普及啓発事業として、高齢者の運動機能の向上や口腔機能の向上、栄養改善などを図るための「しかべ地域まるごとげんきアッププログラム(まる元)」及び高齢者閉じこもり予防のための「あったかサロン」を実施する。	まる元登録者数 (R3:60人、R4:70人、R5:75人) サロン登録者数 (R3:35人、R4:40人、R5:45人)	まる元を毎週火曜日に実施。 登録者数:52人(前年度末55名) サロンを隔週金曜日に実施。 登録者数:34名(前年度末38名)  両事業ともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、事業を自粛(中止)する期間が発生した。 まる元では、中止期間がある場合、自宅で行えるプログラムを参加者へ情報提供し、個別に支援を実施した。	○	両事業ともに登録者数が若干減で推移した。  新型コロナウイルス感染症を起因とし、参加したくても活動を自粛するといった方が潜在的にいることも想定されるため、翌年度以降も引き続き事業における感染症対策に努めながら、効果的な事業周知を図らなければならない。 町広報誌への記事掲載や事務局及び参加者等による声かけが特に効果的である。  また、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業の自粛(中止)となる場合には、引き続き個別支援を実施するほか、電話や訪問時の声かけなどにより、参加者の健康チェック及び見守りに注力する必要がある。
鹿部町	②給付適正化	町内の介護保険サービスの提供体制は整備されてきたものの、それぞれのニーズに応じたサービスが十分に提供できる体制は整っていないとはいえない状況である。 住民が身近な地域で介護や介護予防のサービスを利用できるよう、利用者本位のサービスを把握し、提供できる体制をと問える必要がある。	介護給付費適正化の推進のため、以下の事項を実施する。 (抜粋) ・要介護認定の適正化 ・ケアプランの点検	・要介護認定の適正化 認定調査状況チェック件数 (R3:150件、R4:150件、R5:150件) ・ケアプラン点検 ケアプラン点検件数(回数) (R3:24件、R4:24件、R5:24件)	・要介護認定の適正化 多職種による認定調査表のチェック体制を構築し、特定の調査員による調査内容の偏りや誤った調査判断などを防止しながらチェックを実施している。(R3:212件) ・ケアプラン点検 介護保険適正化専門員が居宅介護支援事業所の実地指導に同行し、ケアプラン点検を行うほか、地域ケア会議で困難事例を協議する。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、実地や地域ケア会議時でのケアプラン点検が難しく、実施回数を減数した。 (R3:12件)	△	・要介護認定の適正化 高齢化の進行により、目標(想定数)よりも、チェック件数が増加していくことも想定されることから、翌年度以降においても、現行のチェック体制を継続し、適正な要介護認定審査に努める。 ・ケアプラン点検 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実地指導時や地域ケア会議時のケアプラン点検実施を検討する必要がある。